
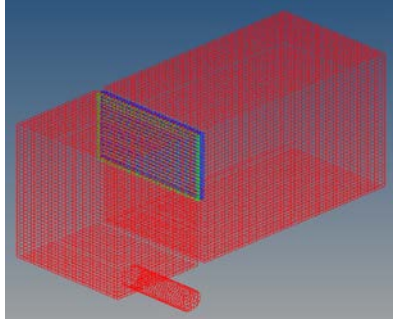
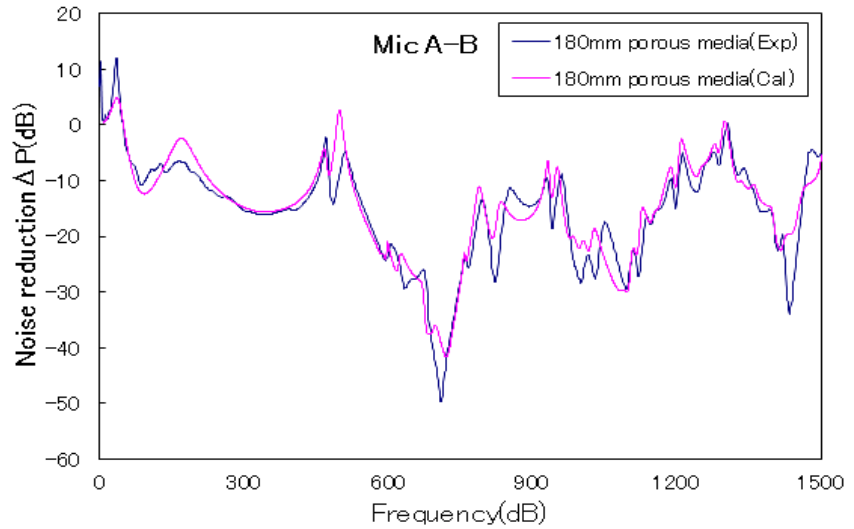


<p>学会名</p>	<p>Dynamics and Design Conference 2015</p>
<p>演題名</p>	<p>多種の多孔体を配置したときの自動車車室内の減衰音響解析</p>
<p>発表者</p>	<p>○池崎修平（帝京大）、黒沢良夫（帝京大）、山口誉夫（群馬大）</p>
<p>内容</p>	<p>自動車のアッパーバック周りを模擬したテストピース（Fig.1）を作成し、ウレタンとフェルトを配置した場合の音源側から、車室側への吸音、遮音性能の変化を計測により確認した。                  FEモデル（Fig.2）を作成し、ウレタンとフェルトは内部空気を複素密度と複素体積弾性率でモデル化し、空間のモード減衰に対する各吸音要素の減衰寄与率からモード損失係数を求めた。解析精度検証実験を行い、十分な解析精度であることを確認した（Fig.3）。解析モデルのウレタンとフェルトの厚さ変更して再計算を行い、1/3オクターブ周波数毎での厚さが最も減音しているか確認した。</p>
<p>関連画像</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>Fig. 1 Experimental setup</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>Fig. 2 FE model</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>Mic A-B                      — 180mm porous media(Exp)                      — 180mm porous media(Cal)</p> </div> </div>